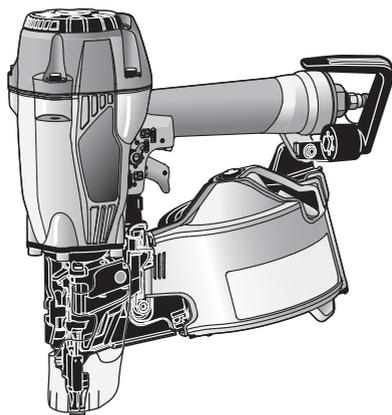


マックス釘打機コイルネイラ

CN-565S2

取扱説明書

プロ用



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

* 便利メモ

お名前		商品名	CN-565S2
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ ()	-

このたびは、マックス釘打機コイルネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示の意味について

ご使用上の注意事項は、 **警告**、 **注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。



警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

■絵表示について



禁止

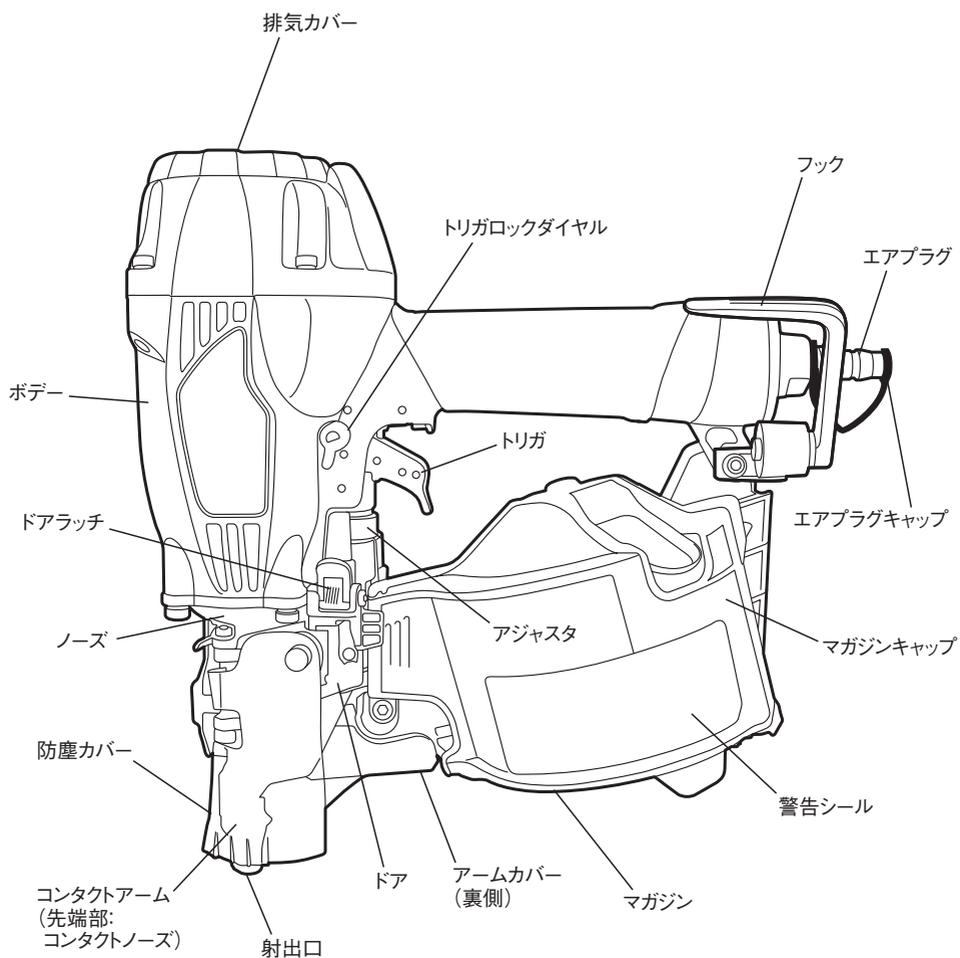
この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目 次

1. 各部の名称	1
2.  安全作業のために	2
3.  安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 使用方法	14
6. 用途とネイル選定基準	20
7. 配管についての注意	23
8. エアホースの接続	24
9. アジャスタの調整と打込状態の確認	25
10. ネイルづまりの直し方	27
11. コンタクトノーズが外れた時の取り付け方	28
12. 性能を維持するために	30
13. 空打ち時の確認事項	31
14. 保証、アフターサービスについて	32

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



2 ▲安全作業のために

本機は、木材またはそれに類した材料を木材や軽量形鋼（1.6～2.3mm厚）、コンクリートに止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

▲ 警告

- ①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、ネイルを連結しているワイヤが飛んだり、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



- ②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

②



- ③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③



2 ▲安全作業のために

警告

④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。
4. トリガをロック（引けないように固定）できるか。
（11 ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー（株）へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

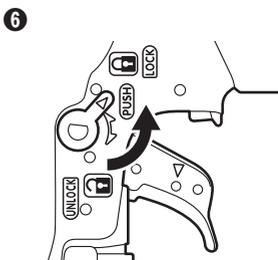
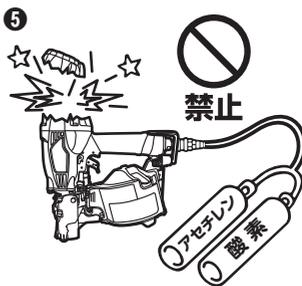
⑤エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロック（引けないよう固定）する。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を絶対に人体に向けない。



2 ▲安全作業のために

▲警告

⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

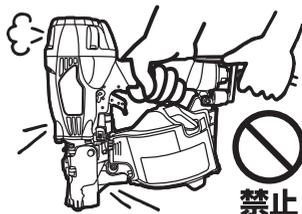
使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK(アンロック) にセットして確認してください。(11 ページ参照)

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

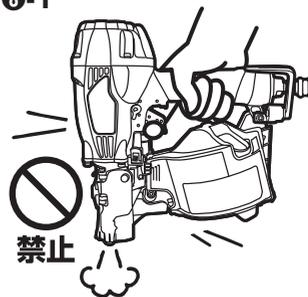
1. トリガを引いただけで、作動音がある。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がある。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

⑦



⑧-1



⑧-2

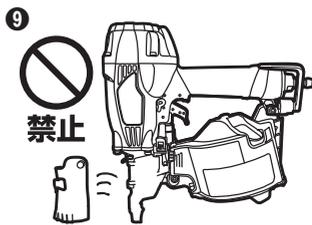


2 ▲安全作業のために

！ 警告

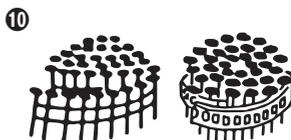
⑨防塵カバーは絶対にはずさない。

釘打作業をする時、対象部材が堅すぎたり、本機の打込能力以上ですとネイルを連結しているワイヤが打ち込まれず飛散する場合がありますので、防塵カバーは絶対にはずさないでください。また、傷んだら交換してください。



⑩指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(13 ページ参照)



⑪作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

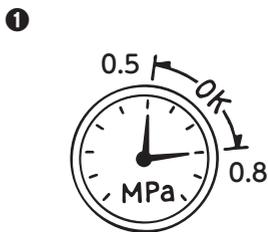


作業中

！ 警告

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は 0.5 ～ 0.8MPa (約 5 ～ 8kgf/cm²) です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.8MPa (約 8kgf/cm²) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

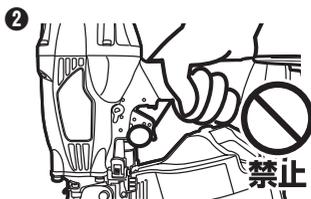


2 ▲安全作業のために

▲警告

②打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。



③射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですので、絶対に行わないでください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



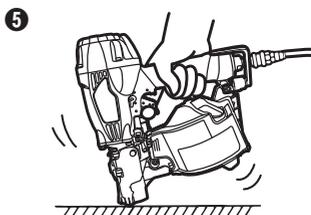
④向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。



⑤射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。



⑥発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

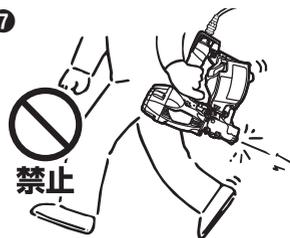


2 ▲安全作業のために

！ 警告

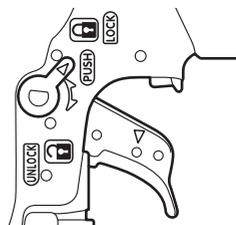
- ⑦移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際はトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ⑧フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

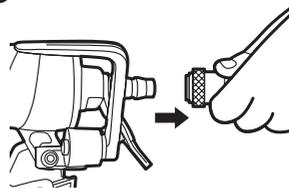
フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ⑨落下やそれに類する衝撃を機械本体に与えた場合、安全装置等が正常に作動する事を確認してから作業を再開する。

- ⑩作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ⑪異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決まてご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。



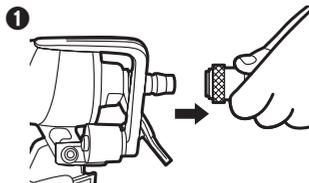
2 ▲安全作業のために

作業後

▲警告

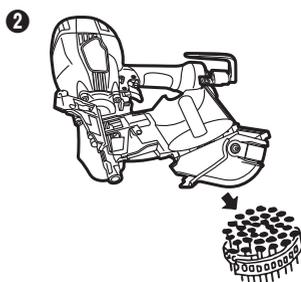
- ①作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースを**はずす**。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



- ②作業終了時には必ずネイルを**抜き取る**。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するとうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜き取ってください。



- ③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

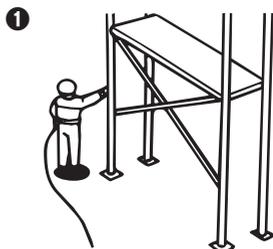


屋外作業について

▲警告

- ①足場の安全性を充分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。



2 ▲安全作業のために

！ 警告

②エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。



③直射日光をさける。

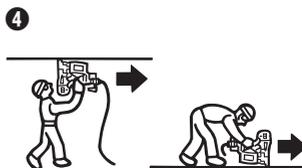
本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。



打ち方

④水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しなからの作業は足をとられるなど危険です。



⑤垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。



⑥傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。



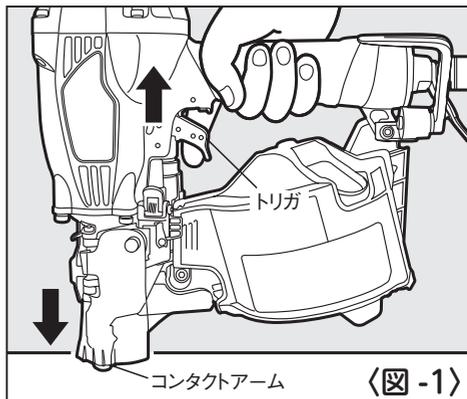
3 ▲安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。

〈図-1〉



▲警告

- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK (アンロック) にセットして確認してください。

- ※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がる。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がる。

異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー(株)へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

3 ⚠ 安全装置について

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができる装置です。 〈図-2〉



釘打作業を行う際はトリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてから作業を開始してください。

ネイルを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、LOCK（ロック）の位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回し UNLOCK（アンロック）の位置にセットしてください。

4 仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機コイルネイラ
商 品 記 号	CN-565S2
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ネイル送り機構	フィードピストンバネ送り方式
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式
寸 法	(H) 303 × (W) 127 × (L) 313 mm
質 量	2.3 kg
ネイル装填数	200本、300本、400本
使用空気圧範囲	0.5～0.8MPa (約5～8kgf/cm ²)
使用エアホース	内径7mm以上、長さ30m以内
使用オイル	タービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)
安全装置	メカニカル方式、トリガロック装置
付 属 品	保護メガネ、ジェットオイラ (油入)、六角棒スパナ 4

注意

- 打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合 (釘浮き等) があります。

〈使用ネイル〉

(単位：mm)

ワイヤ連結ネイル			
分類	長さ	商品名	頭径
鉄ネイル	スムーズ	38 NC38V1	5.0
		45 NC45V1	5.0
		45 NC45V3	5.7
		45 NC45V5	6.0
		50 NC50V1	5.0
		50 NC50V3	5.7
		50 NC/FC50V5	6.0
		57 NC/FC57V5	6.0
	65 NC/FC65V5	6.0	
	スクリュ	38 NS38V1	5.0
		45 NS45V1	5.0
		45 NS45V5-C	6.0
		50 NS50V1	5.0
		50 FS50V5-C	6.0
57 FS57V5-C		6.0	
メッキ ネイル	スムーズ	38 NC38V1メッキ	5.0
		45 NC45V1メッキ	5.0
		50 NC50V1メッキ	5.0
ステンレス ネイル	スムーズ	38 NC38V1-S	5.0
		65 NC65V5-S	6.0
	スクリュ	38 NS38V1-S	5.0
		50 NS50V1-S	5.0
		38 NR38V1-S	5.0
		50 NR50V1-S	5.0
コンクリート用 ネイル	メッキ	38 NC38V5-Hコンクリート	5.5
		42 NC42V5-Hコンクリート	5.5
		45 NC45V5-Hコンクリート	5.5
		50 NC50V5-Hコンクリート	5.5
		57 NC57V5-Hコンクリート	5.5
		60 NC60V5-Hコンクリート	5.5
		65 NC65V5-Hコンクリート	5.5

ブラシート連結ネイル			
分類	長さ	商品名	頭径
鉄ネイル	スムーズ	65 FCP65V5(17mmシート)	6.5
	スクリュ	50 FSP50V2	5.7
ステンレス ネイル	スクリュ	38 FSP38V2-S	5.3
		38 FSP38V2-Sクリーム	5.3
		50 FSP50V5-S	5.5
	リング	38 FRP38V2-S	5.3
		45 FRP45V3-S	5.3
		50 FRP50V2-S	5.3
		50 FRP50V5-S	5.5
		32 FAP32V5	5.5
鋼板用 ネイル	メッキ	32 FAP32V5/パッキン	5.5
		38 FAP38V5	5.5
		38 FAP38V5/パッキン	5.5
		45 FAP45V5	5.5
		50 FAP50V5	5.5
		57 FAP57V5	5.5
		65 FAP65V5	5.5
		32 FAP32V5-S	5.5
	ステン	32 FAP32V5-S/パッキン	5.5
		38 FAP38V5-S	5.5
		50 FAP50V5-S	5.5
		32 FCP32V5-Hコンクリート	5.5
		38 FCP38V5-Hコンクリート	5.5
コンクリート用 ネイル	メッキ	45 FCP45V5-Hコンクリート	5.5
		50 FCP50V5-Hコンクリート	5.5
		65 FCP65V5-Hコンクリート	5.5

⚠ 警告

●指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。

5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

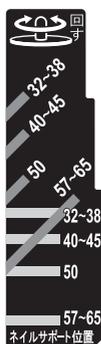
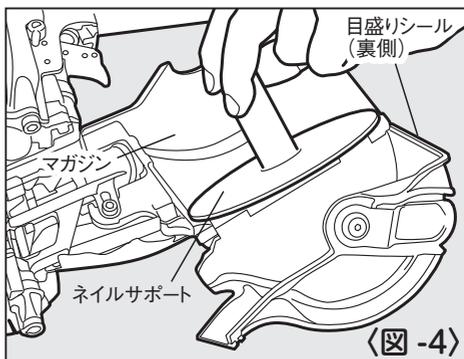
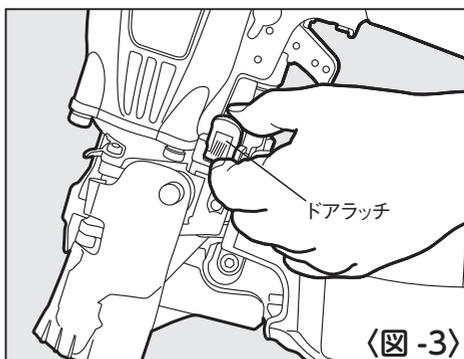
【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

●ネイルを装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

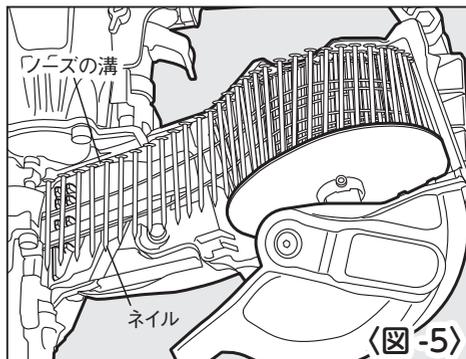
- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ドアとドアラッチに指をかけてドアラッチを上へ押し付けながら左へ開きます。
〈図-3〉
- ③マガジンキャップを右へ軽く回して開きます。
- ④使用するネイルの長さに合わせてネイルサポートの高さを調整してください。ネイルサポートを指で回すと上下に動きますので、マガジン底部の目盛りシールを見て調整してください。
〈図-4〉



⚠ 注意

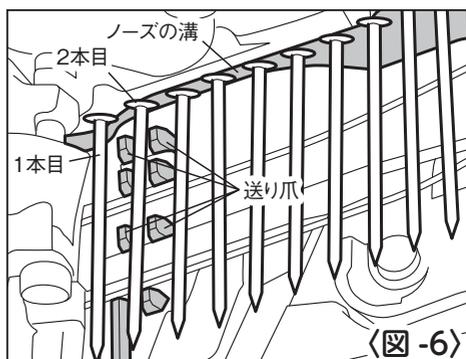
●使用するネイルの長さに合わせて、必ず適正位置にネイルサポートをセットしてください。不適性な位置で使用するとネイルの送り不良が発生します。

- ⑤ ネイルをマガジンに入れ、ネイルの頭部がノーズの溝に入るようにネイルを引き出します。 〈図-5〉



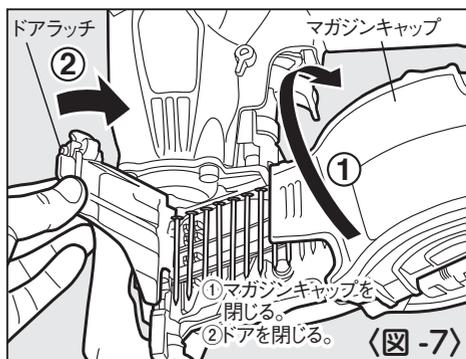
- ⑥ 1本目のネイルを送り爪の左、2本目のネイルを送り爪の間にセットします。 〈図-6〉

⚠ 注意
●ネイルが正しい位置にセットされていないと、ネイルを打ち損じる恐れがあります。



- ⑦ マガジンキャップを閉じます。
⑧ ドアラッチをつまみながらドアを完全に閉じます。 〈図-7〉

⚠ 注意
●ドアラッチが確実にかかっているか確認してください。不完全な状態だとドアが開く恐れがあります。



【打ち方】 CN-565S2 の場合

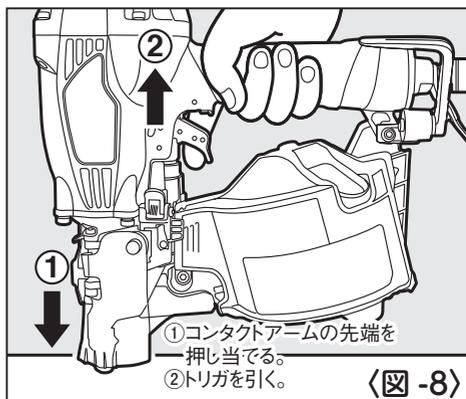
本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるよう「単発打ち」と「連続打ち」切換えが打ち方で使い分けできる機構を有しています。

単発打ちの操作方法

単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。主に斜め打ち、サイディング打ちなどネイル頭を面いちに合わせたり、仕上げを重視する釘打作業に適しています。

手順

- ①トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
- ②ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当ててからトリガを完全に引いてください。〈図-8〉

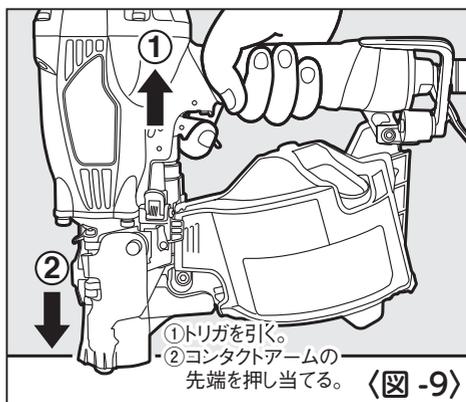


連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。主に床・壁・屋根などの下地打ちのときに適しています。

手順

- ①トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
- ②トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てるだけで連続打ち作業ができます。 〈図-9〉



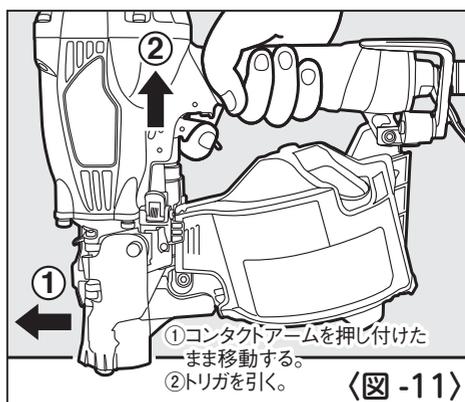
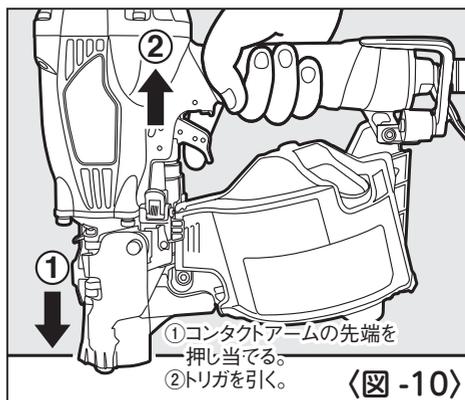
※単発打ちでトリガを引いたまま、再度コンタクトアームを打込対象物に当ててもネイルは発射されません。続けて連続打ちする場合は、トリガから指をいったんはなしてから、連続打ちの操作を行ってください。

【打ち方】 CN-565S2-ST の場合

本機はシーケンシャルトリガを採用しています。シーケンシャルトリガは、コンタクトアームを対象物に押し当てた後、トリガを引く単発打ち専用の構造となっておりますので狙った場所に一発一発より一層確実に打つことができます。また、その結果として偶然の思わぬ事故から身を守り安全に作業することにつながります。

手順

- ① トリガロックダイヤルを押し回し、UNLOCK（アンロック）の位置にセットします。
- ② ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアームの先端をしっかりと押し当ててからトリガを引いてください。
- ③ トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを対象物に当ててもネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなしてから②の操作を繰り返し行ってください。 〈図-10〉
- ④ コンタクトアームを押し付けたまま次の打ち込み位置へ移動して再度トリガを引けばネイルを発射することができます。 〈図-11〉



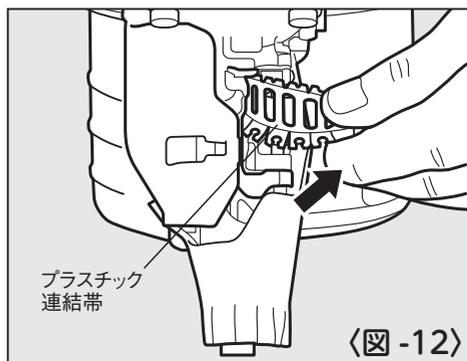
警告

- 作業前、シーケンシャルトリガが上記通りの作動をするか必ず確認する。
- シーケンシャルトリガの各部品が摩耗または消耗していないか必ず点検して、異常がある場合は本機を使用しない。
異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。修理の際は決してご自分で修理をなさらずに、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング & サービスファクトリー㈱へ、お買い求めの販売店を通じてお申し付けください。

【プラスチック連結帯の切り方】

プラシート連結ネイルを打っていますと、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。

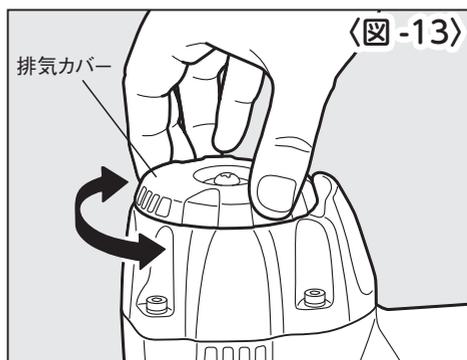
〈図-12〉



【排気方向の変え方】

シリンダキャップ部の排気カバーを手で回すことにより、排気方向を変えることができます。

〈図-13〉

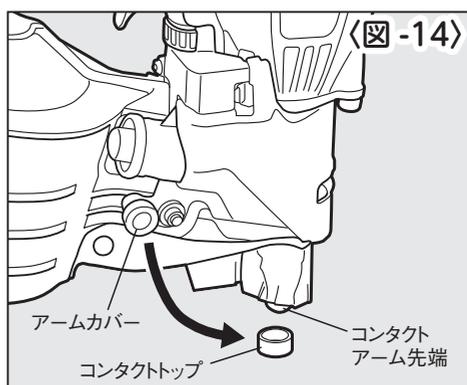


【コンタクトトップの使い方】

⚠ 警告

- コンタクトトップ着脱の際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

サイディング等にネイルを打つ際、表面に傷をつける恐れがある場合は、コンタクトトップを取り付けてください。



取付方法

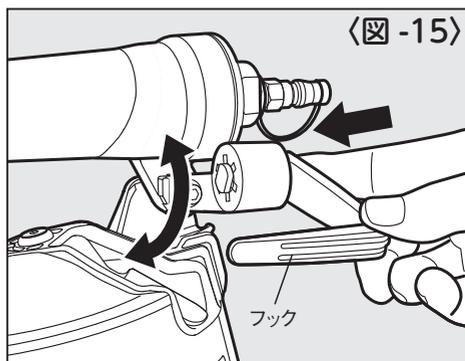
コンタクトアーム先端の凹部にコンタクトトップ内側の凸部がはまり込むまで押し込みます。

〈図-14〉

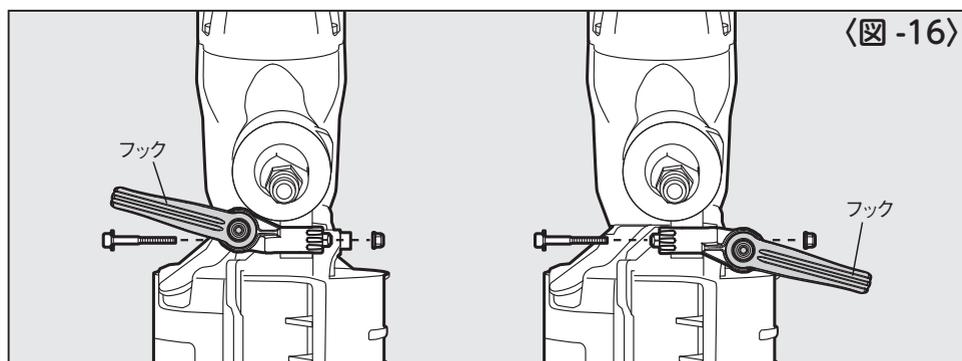
※コンタクトトップは出荷時アームカバー後部に取り付けてあります。

【フックの方向の変え方】

フックは向きを変えることができます。フックの向きを変えるときは、矢印の方向に押しながら回してください。 〈図-15〉



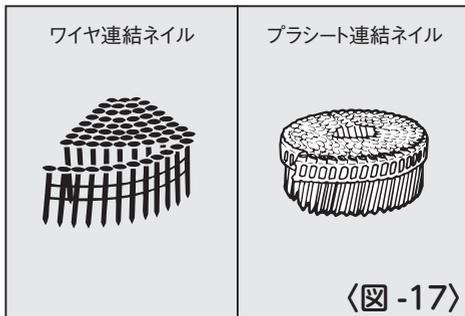
フックは反対側に取り付けることができます。付け変えるときは、六角棒スパナでボルトをはずし、フックの取付け位置を変えてから、再び組込んでください。 〈図-16〉



6 用途とネイル選定基準

本機はワイヤ連結ネイル、プラシート連結ネイルの2種類の連結ネイルが使用できます。打込対象物に合わせて適したネイルを選定してご使用ください。

(使用ネイルは13ページ参照) 〈図-17〉



●主な用途

- ・木造下地止め (木材と木材の接合)
- ・窯業系サイディング張り
- ・木材の軽量形鋼 (厚さ 1.6 ~ 2.3mm) への取付け
- ・木材のコンクリートへの取付け

【鋼板用ネイルを使用するとき】

⚠ 警告

- 施工については施工基準書にもとづいた施工を行う。
- 施工基準の指定のない場合は参考施工例を参考にする。
- 天井 (天井下地含む)、屋根 (屋根下地含む) へは絶対に使用しない。
- 必ず射出口先端を部材に直角に押し当てる。
- 鋼板直打ちに使用しない。

本機は 1.6 ~ 2.3mm 厚の軽量形鋼専用です。ご使用のときは部材の状況や施工現場の条件を考慮し、施工基準書に準じてください。

ネイル選定の目安

ネイル名	線径	長さ	部材厚さ (合計)範囲	軽量形鋼 厚み
FAP32V5 (-S、Sパッキン、パッキン)	2.5mm	32mm	15~20mm	1.6~2.3mm
FAP38V5 (-S、パッキン)	2.5mm	38mm	20~25mm	1.6~2.3mm
FAP45V5	2.5mm	45mm	25~35mm	1.6~2.3mm
FAP50V5 (-S)	2.5mm	50mm	30~40mm	1.6~2.3mm
FAP57V5	2.5mm	57mm	35~45mm	1.6~2.3mm
FAP65V5	2.5mm	65mm	45~55mm	1.6~2.3mm

①ネイルは右表を参考に部材厚さに応じて適切なものを選んでください。

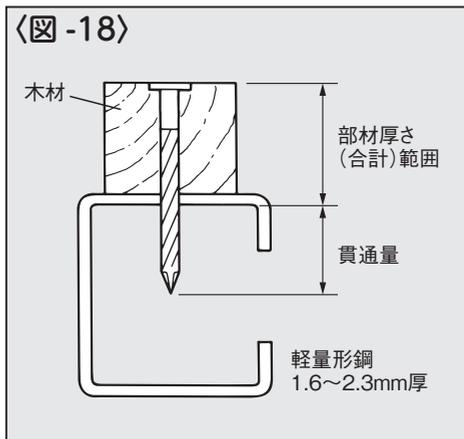
※部材の堅さや厚さの組合せによっては打込めない場合があります。

※部材厚さが適正範囲より薄い場合、ネイルが曲がり打ち込めないことがあります。

② 鋼板用ネイルを軽量形鋼に直打ちすると、ネイルが飛び非常に危険ですので絶対にしないでください。 <図-18>

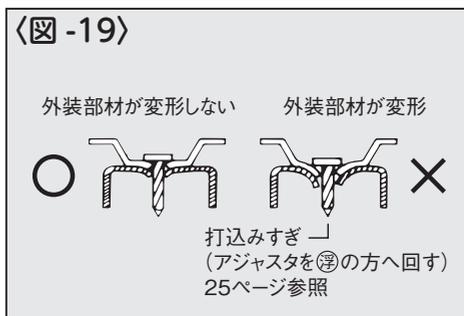
③ 必ず射出口先端を部材に直角に押し当てて使用してください。斜めに当てるとネイルが飛び非常に危険です。

④ 屋根（屋根下地含む）、天井（天井下地含む）へは絶対に使用しないでください。



⑤ 鋼板打ちでの打込みすぎは極端に保持力が低下しますので、作業の際には、打込状態を十分に確認してください。

<図-19>

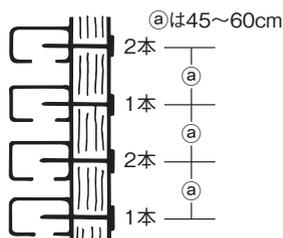


参考施工例

● 内装胴ブチ止

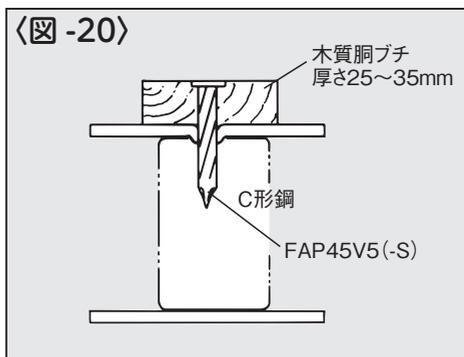
<1m² 当りの打込本数> 16 本以上

※住宅の場合



1 本の胴ブチに 6 本以上止めてください。
(胴ブチ下側は必ず床に接していること)

<図-20>

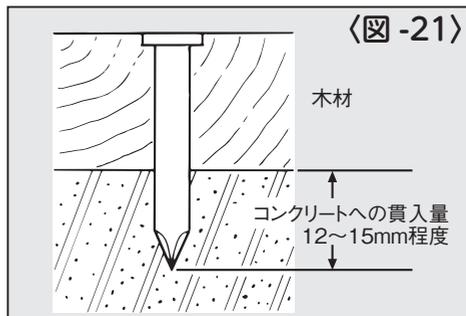


【コンクリートネイルを使用するとき】

本機は打設後まもないコンクリート専用です。ご使用のときは部材の状況や施工現場の条件を考慮し、施工基準書に準じてください。

- ネイルの長さはコンクリートへの貫入量が12～15mm程度になるよう選定してください。

〈図-21〉



※コンクリートの貫入量が15mmより深い場合やコンクリートが硬い場合、十分に打ち込めないことがあります。

〈ネイルと部材の組合せ例〉

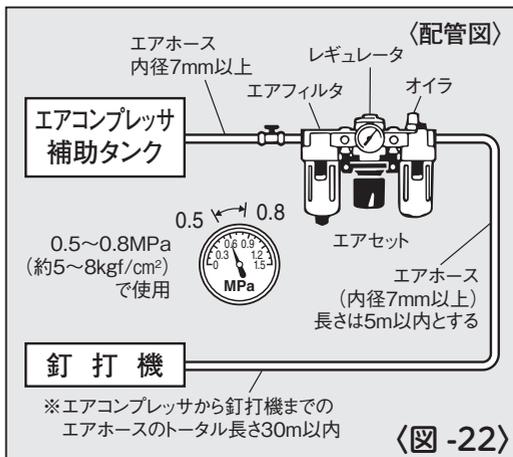
ネイル名	ネイル長さ	部材厚さ	コンクリートへの貫入量
FCP32V5-H コンクリート	32mm	20mm	約12mm
NC(FCP)38V5-H コンクリート	38mm	25mm	約13mm
NC42V5-H コンクリート	42mm	27mm	約15mm
NC(FCP)45V5-H コンクリート	45mm	30mm	約15mm
NC(FCP)50V5-H コンクリート	50mm	35mm	約15mm
NC57V5-H コンクリート	57mm	42mm	約15mm
NC60V5-H コンクリート	60mm	45mm	約15mm
NC(FCP)65V5-H コンクリート	65mm	50mm	約15mm

7 配管についての注意

警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。



8

エアホースの接続

⚠ 警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

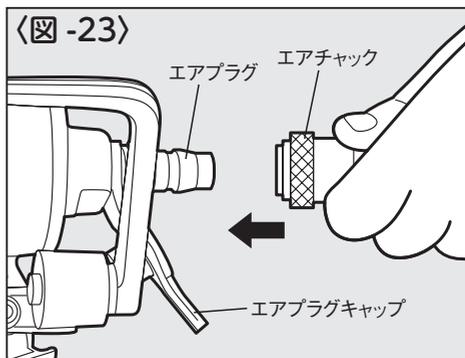
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロックする。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

手順

- ① トリガをロックします。
- ② エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- ③ エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。

〈図-23〉



⚠ 警告

- 作業中断時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

9 アジャスタの調整と打込状態の確認

本機には打込み深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

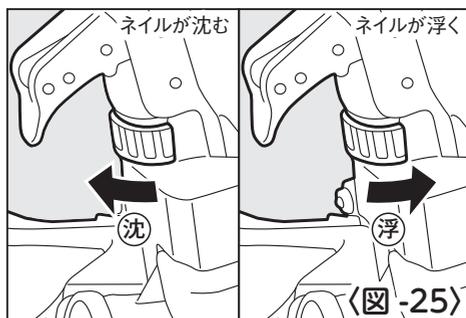
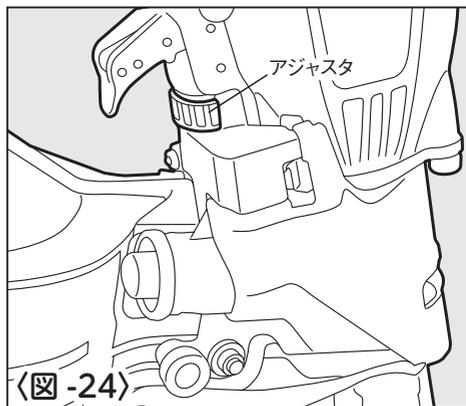
〈図-24〉

警告

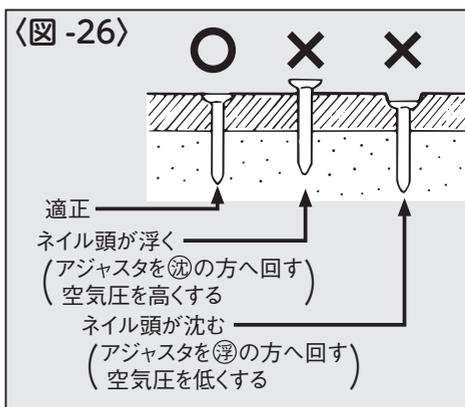
●調整の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- 1 トリガをロックし、エアホースをはずします。
- 2 ネイルを装填します。
- 3 エアコンプレッサの圧力を 0.6MPa (約 6kgf/cm²) にセットします。
- 4 本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK (アンロック) にセットします。
- 5 アジャスタの調整 (ネイルの打込調整) の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- 6 トリガをロックし、エアホースをはずします。
- 7 ネイルを取り出します。
- 8 アジャスタを回し調整します。〈図-25〉
※アジャスタを 1 回転させると約 1.2mm 上下します。
- 9 本機にネイルを装填します。



- ⑩エアホースを接続し、トリガロックダイヤルを UNLOCK (アンロック) にセットしてさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。 〈図 -26〉



- ⑪適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。
※アジャスタ目盛りの位置を覚えておくと次に使用するとき便利です。

- ⑫適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。

⚠ 警告

- 0.8MPa (約 8kgf/cm²) を超えた圧力では絶対に使用しない。

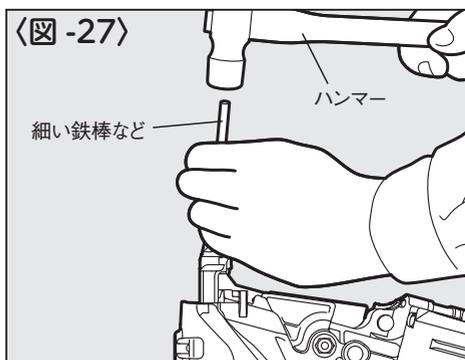
10 ネイルづまりの直し方

⚠ 警告

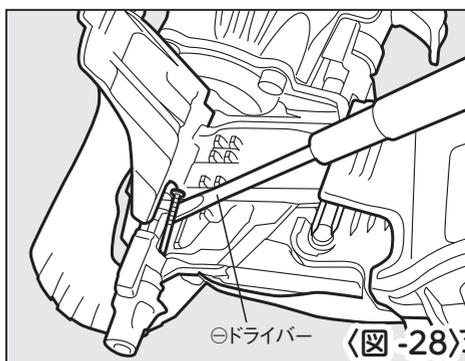
●ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。 〈図-27〉



- ④ノーズ内部につまったネイルを細い鉄棒や⊖ドライバーで取り除きます。 〈図-28〉
- ⑤ネイルを送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。

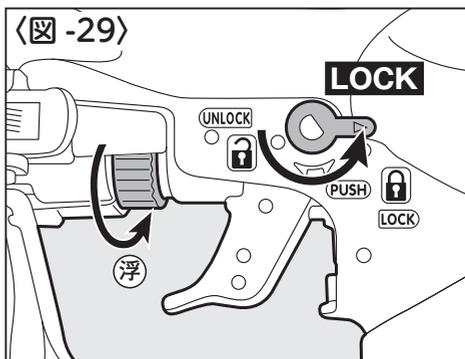


11 コンタクトノーズが外れた時の取り付け方

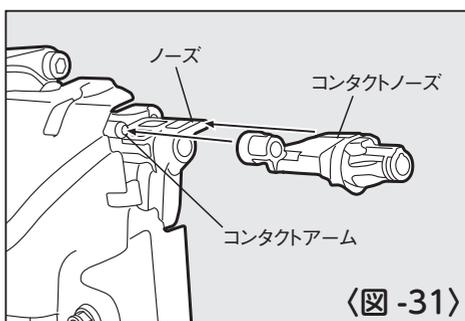
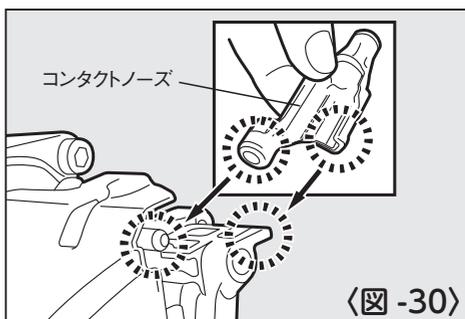
⚠ 警告

●コンタクトノーズを取り付ける時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

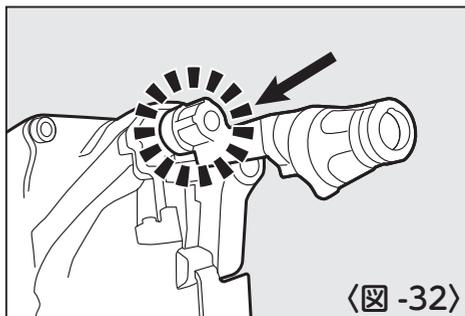
- ①トリガをロックし、エアホースをはずし、アジャスタを「浮」方向に止まるまで回します。 〈図-29〉



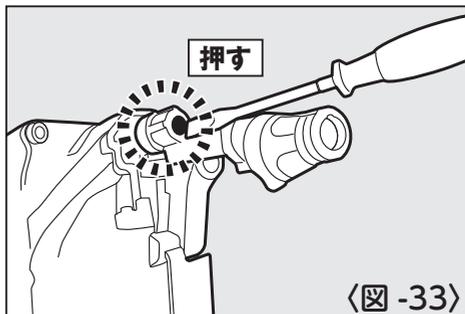
- ②図のようにコンタクトノーズをコンタクトアームとノーズに合わせて差し込みます。 〈図-30〉 〈図-31〉



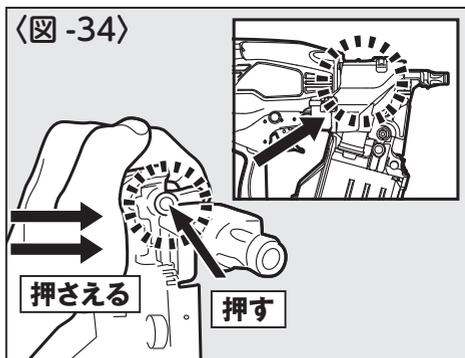
- ③カチッというまで、図の部分を押してください。
〈図 -32〉



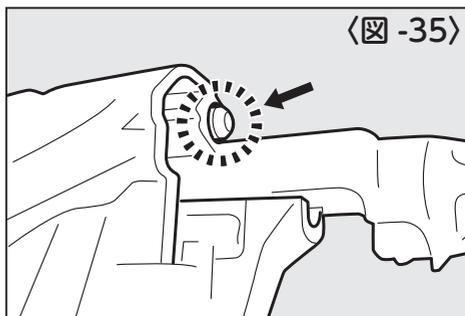
- ⊖ドライバー等を使うと取り付けやすいです。
〈図 -33〉



- 手のみの場合は、図の部分を手で押しなが
らコンタクトノーズを取り付けてくだ
さい。
〈図 -34〉



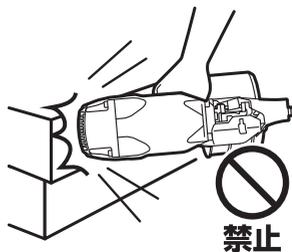
- 図のようにコンタクトアーム先端が飛び
出した状態が正常です。そうでない場合
は、②からやり直してください。
〈図 -35〉



12 性能を維持するために

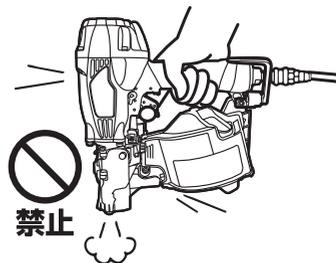
①本機を大切に使う

落したり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶついたり、叩いたりしないでください。



②空打ちをしない

ネイルを装填しないで空打ちをくり返し行くと、破損したり、各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



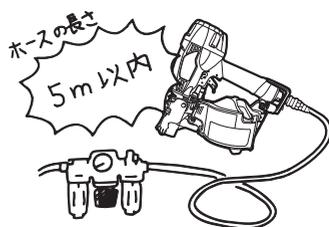
③エア圧力を調整し、使用する

打込対象物に合わせ必ず空気圧を調整し、使用してください。対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



④エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



⑤本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



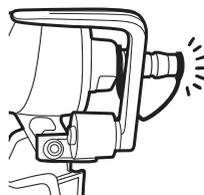
⑥指定オイルを注油する

オイルはタービン油 2 種 ISO VG32 (JIS K 2213) を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より約 5 滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



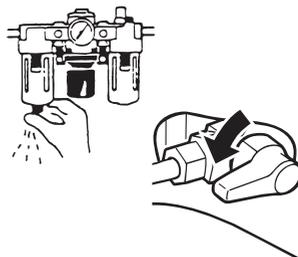
⑦エアプラグキャップの使用法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



⑧エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑨定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。定期点検は、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。

13 空打ち時の確認事項

作業中に本機は作動するがネイルが実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

- ①ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。
- ②送り爪が作動しているかどうか。
※作動していない場合は、エアプラグから約5滴注油してください。
- ③ネイルがマガジン内でからまっていないか。
- ④ネイルサポートの高さがネイルの長さに合わせて適正に調整されているか。

上記①②③④を確認しても空打ちが直らない場合には、本機の性能回復のために充分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱へ、お問い合わせの販売店を通じて点検・修理に出してください。

14 保証、アフターサービスについて

【保証について】

- 本機には保証書（外箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の基本保証期間はご購入日より1年間です。
「お客様登録カード」にて登録手続きしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間となります。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、すぐに使用を中止してください。修理の際は、本機の性能回復のために十分な技術と設備を有しているマックスエンジニアリング&サービスファクトリー㈱へ、お買い上げの販売店を通じてお申し付けください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
新潟営業所	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
群馬営業所	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)353-7075(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
関東営業所	〒300-0811	土浦市上高津915-1	TEL(029)835-7322(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8619(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
京滋営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市北区野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)0120-228-358

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

